

試験日：令和7年12月15日(月) 担当：郡司

試験得点

18 / 30

学籍番号

-12

問1、以下の①～④の( )にあてはまる言葉や数字を書きなさい。(2点×4=8点)

- ・産褥熱の定義は、分娩後24時間以降、産褥(① 5)日以内に、2日以上にわたり、(② 38)℃以上の発熱をきたすものをいう。
- ・母乳による母子感染のリスクがある感染症には、(③ 先天性免疫不全症候群)や後天性免疫不全症候群(HIV感染)がある。
- ・帝王切開術後の早期離床の目的として、深部静脈血栓症などの術後合併症の予防と、(④ 進行)性変化の促進がある。

問2、以下の文が、正しい場合には○を、間違っている場合には×を回答欄に記入しなさい。

(2点×6=12点)

- 1) 子宮復古不全の原因の中に、多胎妊娠や羊水過多などの子宮筋の過伸展がある。
- 2) うっ滞性乳腺炎では、授乳を禁止する。
- 3) 帝王切開後は、やせの褥婦の方が、肥満の褥婦よりも、深部静脈血栓症のリスクが大きい。
- 4) 母体感染症により『母乳を行わない』と決めた褥婦には、乳房の観察やケアなどの看護は行わない。
- 5) 乳房緊満による疼痛が授乳後もひどい場合には、授乳と授乳の間に、乳房の冷罨法を行う。
- 6) 児を死産した場合には、後につらい記憶となるため、児の抱っこは両親に勧めない。

|      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|
| 1) ○ | 2) × | 3) × | 4) × | 5) × | 6) × |
|------|------|------|------|------|------|

問3、マタニティブルーズについて正しいのはどれか(2点)

- ①スクリーニング調査票がある。
- ②日本における発症頻度は10%である。
- ③一過性に涙もろくなる
- ④好発時期は、産後1か月ころである。

答え：③

問4、Aさんは妊娠37週6日に骨盤位のため予定帝王切開となった。術後の経過は母児共に順調である。

Aさんへの看護として適切なのはどれか。(2点)

- ①入院中は、毎日、清拭をする。
- ②術後1日目に、初回歩行をする。
- ③自分で座れるようになってから、児の授乳を開始する。
- ④術後2日目に、食事を開始する。

答え：①

問5、子宮復古不全時の、治療や看護を3つ挙げなさい。(2点×3=6点)

※観察や状況判断はもちろん大切ですが、この設問では、観察や状況判断以外の、子宮収縮を良くするための介入を3つ答えてください。

- ・母乳を促す。
- ・児とのスキンシップ時間を促す。
- ・活動量を増やす。